

令和4年12月1日

## 自他の人権を尊重し，人権感覚を磨こう

南九州市立浮辺小学校  
校長 石川 雅実

国際連合の活動はすべて世界平和の実現と人権に関わっていると言えます。1948年12月10日に世界人権宣言が国連総会で採択されました。これを記念してこの日を最終日とする人権週間が設定され、特に12月10日が世界人権デーとなっています。

本校では11月29日より校内人権週間を設定し、各学年での発達段階に応じた人権学習や人権ポスター、人権標語等の作成、人権擁護委員による人権教室等の取組を計画しています。

世界人権宣言では、「人間は人種、信条、性別、言語、または宗教などによって差別されてはならない。全ての人間の人権と基本的自由は尊ばれ、守られなければならない。」という趣旨が、前文と36か条の条文の中に一貫して述べられています。

人権週間という特別な期間での指導や啓発も大切ですが、日頃から自他の人権を尊重する態度や人権感覚を磨くことについて、学校でも真剣に取り組んでいきます。御家庭でも話題にされてください。

令和4年12月7日

## 感動と勇気をもらった持久走大会

南九州市立浮辺小学校  
校長 石川 雅実

閉校記念校内持久走大会を行いました。寒い中でしたが、晴天に恵まれ持久走日和になりました。

年間を通して体育科授業や業間の時間を活用し、体力づくりに励んできた子どもたちです。一人一人が自己ベストを目指し、力走を見せてくれました。沿道では保護者や祖父母、地域の皆様方が温かく応援してくださいました。

自己肯定感を高めるには、自ら目標を立て、工夫したり努力したりする点などをよく考え、その基準に沿ってどこまで達成できたかを自己評価することが大切です。また、それを他者が認め、賞賛するといった関係性も重要です。私は子どもたちの励む姿に「よく頑張りました。」と、率直に賛辞を贈ることができました。

子どもたちにとっては、自尊感情と自己有用感を自ら育み、自己肯定感を更に高めることができたと思います。辛くても最後まで諦めない強い気持ちを今後も持ち続けてほしいと思います。子どもたちの姿に、また感動と勇気をもらいました。

令和4年12月7日

## 食育で家庭との連携を深める

南九州市立浮辺小学校  
校長 石川 雅実

学校保健委員会で栄養教諭をお招きし、食に関する講話をしていただきました。専門的でとても分かりやすい講話を拝聴し、朝食の大切さ、バランスのよい食事の必要性、献立を考える際のポイント等を詳しく学ぶことができました。

結びの挨拶で、食前に「頂きます」、食後に「ご馳走様」と、なぜ言うのか、各家庭でも話題にしてほしい旨を伝えました。その答えはきっと、家族への想いや生産者の願い、食品の流通等にも拡がり、周囲への感謝の気持ちを高めることにも繋がると思います。食に対する安心・安全、食品ロス、自然環境保護等へと関心が高まることにも期待したいと思います。

古代ギリシャの哲学者ソクラテスは「人は食べるために生きるのではない。生きるために食べるのである。」と説きました。「食育」は「人が良く育つ」と書きます。今後もコロナ禍における食事のマナーも含め、食育に関する情報提供を通して、家庭との連携を深めていきたいと思っています。

令和4年12月23日

## 新年を新たな気持ちで迎えよう

南九州市立浮辺小学校  
校長 石川 雅実

二学期もコロナ禍の中、学校教育活動の充実を期すために職員と子どもたちが一体となり、工夫を凝らしながら学校行事等の取組を行ってきました。

全ての行事が閉校記念となる合同運動会、学習発表会やふれあい祭、持久走大会等、子どもたちの頑張りに元気をもらい、感動する日々でした。子どもたちもきっと達成感や成就感、自己肯定感を更に高めたことでしょう。また、保護者や地域の方々の温かい御支援、御協力に対しましても感謝の連続でした。

冬休みを迎えます。子どもたちには感染症対策を徹底しながら、正月ならではの体験や地域行事等、日本文化のよさを肌で感じてほしいと思います。

元日の朝、日頃見慣れた景色も何か新鮮に感じられるものです。一年の計は元旦（元日の朝）にありと言われます。新年の抱負や目標、夢や希望等、各自の取り組むべき計画をしっかりと立て、また新たな気持ちで挑戦を続けてほしいと思います。皆様、よいお年をお迎えください。